

概要

世界は嘗て、魔王と呼ばれる者の支配下に在った。
いや...今にして思えば、それは統治と言うべきだったかも知れない。
経緯こそ省くが、彼の魔王は、剣も魔法も携えず唯実直に語を交えた青年に、世界を託したと云う。
再び世界に平穏が訪れる.....筈であった。人類は青年の思うより、遙かに愚かだったのだ。
魔王と謂う共通の敵を失い、或る者は、新時代の覇者たらんと名乗りを上げた。
また或る者は、青年に取り入る為、金品や娘を贈って正統な後継者を主張した。
青年はこの有様に失望し、姿を消した。跡には、鮭の骨が残されていたと云う...。
時は過ぎ、世界は未だ混迷の中に在る。貧困、憎悪、差別——この世界に救いは在るのだろうか。

このゲームは、マスターが提示する階級・優劣を確認し、プレイヤー側がそれらの指し示す階級を回答するボードゲームです。
地位も身分も肩同然、慧眼を頼りに生き抜きましょう！

ゲームの目安

- 参加人数...3-7人
- 所要時間...約5~6分
- 対象年齢...階級社会の理不尽さに憤怒する齡

内容物 (ver1.00)

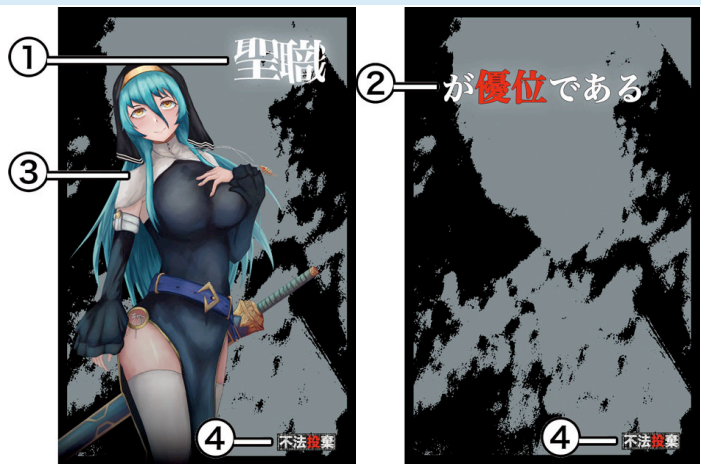
- カード...26枚 (【階級】...9枚 【優劣】...9枚 確認用カード...8枚)
- コマ...4個

カードの説明

●【階級】 ●【優劣】

- 階級や優劣が書かれたカード群です。
それぞれ単体では機能せず、
組み合わせる事で初めて機能します。

- ①階級：マスターが提示する階級です。
- ②優劣：マスターが提示する優劣です。
- ③イラスト：カードのイラストです。
頭が上側なら、**正位置**のカードです。
頭が下側なら、**逆位置**のカードです。
これらは、階級の優劣関係に影響します。
- ④ロゴ：制作者のロゴです。



●確認用カード

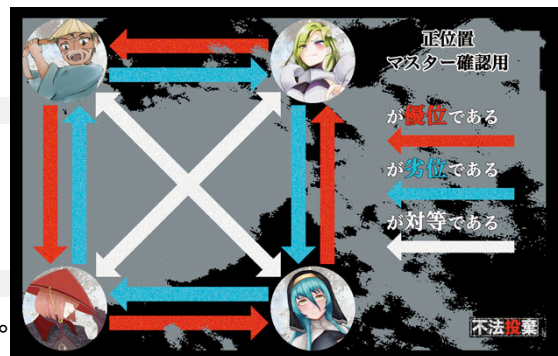
- 階級の優劣関係を確認するためのカードです。

マスター確認用

「が**優位**である」「が**劣位**である」「が**対等**である」
全ての優劣関係を記載しています。
正位置時と逆位置時の2枚があります。
マスターのみ見ることができます。

プレイヤー確認用

正位置のカード「が**優位**である」関係のみ記載しています。



ゲームの準備

ゲームを始めるに当たって、マスターは以下の物を準備しましょう。
なお、プレイヤー側に準備する物はありません。手番（解答する順番）だけ決めておきましょう。

●山札

- 「道化師」以外の【階級】全てをシャッフルして山札を作り、裏向きで置きます。
- 「に**優位**である」「に**劣位**である」以外の【優劣】全てをシャッフルして山札を作り、裏向きで置きます。



●確認用カード

- それぞれに対応する確認用カードを配ります。
ビデオ通話でプレイする際は、「プレイヤー確認用」を常に映しておきましょう。

勝利条件

●勝利条件（マスター）

ありません。進行に専念します。

●勝利条件（プレイヤー個人）

最後の1人に残った場合、ゲームに勝利します。

ゲームの流れ

マスター	
①カードを引く	・提示する階級・優劣を決定します。 ・正解となる階級を確認します。 ・【階級】 【優劣】を提示します。
②優劣関係を確認	
③カードを提示	
手番プレイヤー	
①階級を解答	・提示されたカードを元に階級を解答します。

①カードを引く

1.マスターは、【階級】の山札からカード1枚を引き、別けておきます。

【階級】の山札がなくなった場合

「道化師」を含む【階級】全てをシャッフルして山札を作り、裏向きで置きます。

2.マスターは、【優劣】の山札からカード1枚を引き、別けておきます。

【優劣】の山札がなくなった場合

「に優位である」「に劣位である」を含む【優劣】全てをシャッフルして山札を作り、裏向きで置きます。以降は、【優劣】の山札から引く枚数が2枚になります。

②優劣関係を確認

1.マスターは、①で引いた【階級】【優劣】を引いた順に確認します。

2.マスターは、「マスター確認用」を見ながら正解となる階級を確認します。

確認方法は、以下の通りです。なお、「道化師」は特殊な処理を行うため、別途後述します。

(例) 【階級】は正位置の「聖職」を引き、
【優劣】は1枚目に「が対等である」を、
2枚目に「が優位である」を引いた場合

正位置の聖職 が対等である階級 が優位である階級
が、今回の正解になります。

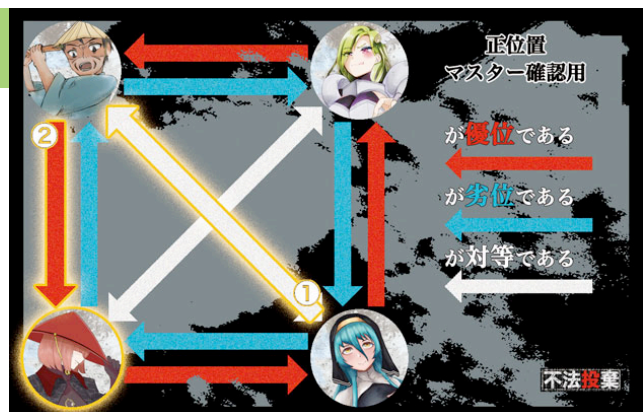
1.「聖職」「が対等である」階級を確認します。

正位置時の「マスター確認用」を使用します。
対等な階級は、白矢印の先ですので、
今回は「農民」が該当します。

2.「農民」「が優位である」階級を確認します。

優位な階級は、赤矢印の先ですので、
今回は「商人」が該当します。

3.正解となる階級は、「商人」になります。



③カードを提示

1.マスターは、手番プレイヤーに①で引いた【階級】を見せて『(正 or 逆)位置の(階級名)』と読み上げます。

2.マスターは、手番プレイヤーに①で引いた【優劣】全てを引いた順に見せて読み上げます。

3.マスターは、プレイヤーの手番開始を宣言します。

①階級を解答

- 1.手番プレイヤーは、**階級**を1つ解答します。持ち時間は、10秒です。
不正解の場合、手番プレイヤーは、即座にゲームから脱落します。
- 2.次のプレイヤーに手番が移り、マスター❶に戻ります。

道化師について

「道化師」は、【階級】の中でも特殊なカードです。

②優劣関係を確認 2. の処理

このカードの優劣関係は、1枚前に引いた【階級】で考えます。
(1枚前も「道化師」の場合は、さらに1枚前の【階級】で考えます。)

(例) 1枚前に引いた【階級】は逆位置の「騎士」、
【階級】は「道化師」を引き、
【優劣】は1枚目に「が劣位である」を、
2枚目に「が優位である」を引いた場合

逆位置の騎士 が劣位である階級 が優位である階級
が、今回の正解になります。

- 1.1枚前に引いた【階級】を確認します。

今回は「騎士」が該当します。
「マスター確認用」は**逆位置**時を使用します。

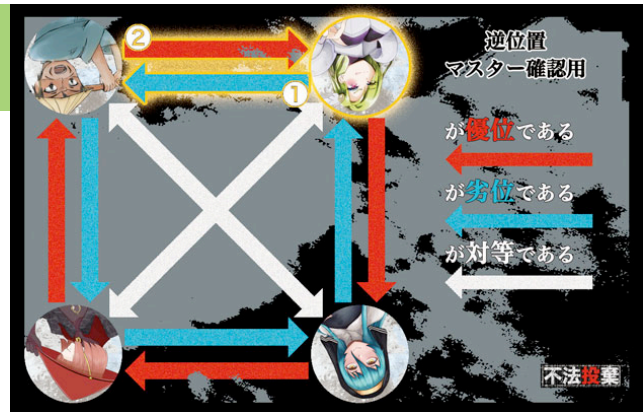
- 2.「騎士」「が劣位である」階級を確認します。

劣位な階級は、**青矢印**の先ですので、
今回は「農民」が該当します。

- 3.「農民」「が優位である」階級を確認します。

優位な階級は、**赤矢印**の先ですので、
今回は「騎士」が該当します。

- 4.正解となる階級は、「騎士」になります。



③カードを提示 1. の処理

- 1.マスターは、確認用カードの階級2カ所を入れ替えて、優劣関係を変化させます。
入れ替えは、このゲーム終了まで有効です。
既に入れ替えている場合、**元には戻さず、その状態から更に入れ替えを行います。**
- 2.マスターは、入れ替えた階級をプレイヤーに宣言します。

(例) 「商人」と「聖職」を入れ替える場合

- 1.階級4カ所を確認します。

階級名が書かれたコマを使用します。
「マスター確認用」の階級4カ所を隠すよう、
対応するコマを置きます。

- 2.階級2カ所を入れ替えます。

「商人」と「聖職」のコマを入れ替えます。

- 3.「商人」と「聖職」を入れ替えた
プレイヤーに宣言します。



上述の例の場合、**正位置**の「聖職」に関しては「が優位である」階級は「商人」、
「が劣位である」階級は「農民」、**「が対等である」階級は「騎士」**に、ゲーム終了まで変化します。
プレイヤーは、マスターがどの階級を入れ替えたのかよく記憶しておきましょう！

「に優位である」「に劣位である」

「に優位である」「に劣位である」は、【優劣】の中でも非常に邪悪なカードです。以下を意味します。

- 「に優位である」 = 「が劣位である」
- 「に劣位である」 = 「が優位である」

ローカルルール

『忘我混沌』は、脳トレ要素の非常に強いゲームです。得意不得意が出易いと推察されます。得意な方には、【優劣】の枚数を更に増やしたり、反対に苦手な方には、「に優位(劣位)である」を外す、不正解でも即座に脱落させずライフを1減らす、といったハンデをプレイヤー毎に設けても良いでしょう。是非、自分なりの難易度に調整して遊んでみて下さい！

登場人物紹介



道化師 Illustrated by ユウキング

仮面の宮廷道化師。

かつてはヒトであったが、魔法に依って傀儡に自らの魂を定着させ、没後も宮廷に仕え続けている。



聖職 Illustrated by 比喩ちまき

勇者の末裔を自称する者。その証たる髪色と剣を所持している。

その正体は、^{マス}鱒の血族である。
夜毎教会にて行われる説教は、鱒信仰に基づくもの。鮭信仰とは似て非なるものだ。

信仰とは力。祈りは地に宿り、川に溶け、海へと帰り広がってゆく——
大いなる始祖、エンプレスサーモンの復活は近い…。



騎士 Illustrated by 境たまき

祭政一致を掲げる某国の騎士。

かの組織は、その政体故に宗教騎士団としての側面を備えており、異教徒に対する征服を公然と行う。

そんな某国にも近年、訝しい信仰が蔓延りつつ有ると云うが…。



農民 Illustrated by 紅重夢

理不尽なまでの年貢、代官による庄政。
世界の救済とは裏腹に、民草の生活は悪化の一途を辿っていた。

残されたのは、僅かばかりの鍬と米、そして——怒り。

怒髪天を衝く。立ち上がる時が来た。
猛き鍬が今、大地に振り下される。



商人 Illustrated by 錦

人海の淀に佇む旅商い。
代官を始めとする為政者は無論の事、訝しい宗徒とも商いを行うのだと云う。